

休耕地の活性化事業

令和元年度 市原市市民公益活動支援補助事業の報告

NPO法人ゆかいな仲間たち

理事長 白尾克伸

npoyknk@gmail.com 090-30699640

事務所 千葉県市原市北国分寺台 1-9-9

①当初計画した内容

「休耕地を活性化して利用を促進する。」

様々な事情から放置されている農用地を、地権者に寄り添いながら、市民力を以って手入れする事で、活性化し地域の空間資源として活用しやすくする。

②実施した内容

| | | |
|---------------------------|--------------|------|
| 計画・設計 | 6月20日～7月20日 | 3人日 |
| 休耕地提供者の募集 | 7月21日～8月15日 | 2人日 |
| 適地選定 | 8月16日～8月31日 | 2人日 |
| もみ殻回収作業 | 9月4日 | 3人日 |
| A土地の作業（市原市反橋）約150坪 | | |
| 地表面の障害物の整理・除草 | 11月1日～11月15日 | 8人日 |
| 重機による手入れ | 2月5日・2月6日 | 8人日 |
| 耕耘① 有機肥料の投入 | 2月10日～2月20日 | 6人日 |
| B土地の作業（市原市郡本）約430坪 | | |
| 草刈り・除草 | 11月1日～11月15日 | 6人日 |
| 耕耘②・有機肥料の投入 | 2月20日～2月25日 | 7人日 |
| 事業のまとめ | 2月26日～2月29日 | 3人日 |
| | 合計 | 48人日 |

募集した結果

チラシの配布や、講演時の呼びかけ、インターネットによる呼びかけにより、市原市内の土地所有者から、**10ヶ所**の申し出がありました。

精査した結果（8件不採用分）

- ・ 2ヶ所は、土地所有者との利用上の制限により利用が難しい。
- ・ 5ヶ所は対象の土地までの取り付け道路が塞がっていたり、アプローチが難しいので断念。
- ・ 1ヶ所は、試掘の結果、道路建設時の建設資材が混入した土壌で除去が難しいため、利用は断念。

精査した結果（採用分）

- ・ **A土地** 20年以上放置された休耕地の再生（約**150坪**）
- ・ **B土地** かつて、町会活動の拠点としていたが、有効利用のため畑としての利用の協力（約**430坪**）

選定した土地の詳細（反橋）

A 20年以上放置された休耕地の再生（約150坪）

～土地の状況と処理方法～

- ①雑草が生い茂っている。
一→全面の草刈、除草作業が必要
- ②地面に様々な農業ゴミが散乱している。
一→手作業で除去作業とゴミの処分
- ③壊れたビニールハウスやの残骸が残っている。
一→手作業で解体作業を行い整理する。
- ④残土が積み上げてある。
一→重機で残土を崩し平坦化作業
- ⑤葛の根が全面に伸びて広がっている。
一→重機で数十cm掘って抜根作業をする。





草刈り機による除草作業



除草剤散布後の障害物除去作業



ビニールハウスの骨組みを撤去する作業



ビニールハウス撤去後の片付け作業



重機による葛の除去作業①



重機と人手による葛の除去作業②



掘り出した大量の葛の根



籾殻の回収作業



積み上げられていた残土の平坦地化作業



耕うん作業

選定した土地の詳細（郡本）

B 郡本の土地

かつて、町会活動の拠点としていたが、有効利用のため畑としての利用の協力（約**430**坪）

～土地の状況～

- ①かつて、町会の公園として利用されてきたが利用が減少した。
- ②**NPO**と協力して、地域の空間資源として有効利用を図りたい。
- ③土地は、整形地でフラット、構囲も整備され、日当たりも良い。
- ④畑として使うには、雑草除去と土作り（耕耘、土壌改良材の投入）が不可欠。但し、水場がない。



地元の空間資源を共同して活用する。



次年度以降に
実施予定の区画

テスト区画の選定



町会の皆さんとの共同作業



除草と堆肥の散布と耕うん作業

③事業の成果

- ・対象となる土地の募集が危ぶまれたが、予想以上の応募があった。
- ・休耕地が農地として活用できるように蘇った。
- ・本事業を通じて、地域との連携が深まり、地域活動の信頼度が飛躍的に増した。
- ・農機や重機の操作法を経験することにより、本会の災害対応への能力が増した。
- ・再生した農地を活かした農作物の生産が可能となった。
- ・以上の経験値が増加したことにより、本会の対応能力の幅が広がった。

④収支成果

| | |
|----------|--------|
| 収入の部：助成金 | 24万2千円 |
| 自己資金 | 13万5千円 |
| 合計 | 37万7千円 |

| | |
|------------|--------|
| 支出の部：印刷製本費 | 1千円 |
| 通信・運搬費 | 20万3千円 |
| 消耗品費 | 10万1千円 |
| 人件費 | 7万2千円 |
| 事務局運営費 | 0円 |
| 合計 | 37万7千円 |

⑤ 今回の活動の課題

土地の利用をする上で、土地の履歴・農業委員会・課税・登記の状態等を理解しておく必要性を感じた。

農機・重機の調達と操作法を更に検証しておきたい。

育苗や乾燥、機材の保管のための拠点として、ビニールハウスを整備したい。

各種作物の育成方法を深めておきたい。

活動を支えるため、資金面の充実を図りたい。

⑥ 今後の進め方・事業計画

地権者との合意を得て、地域資源としての活用。

本事業のノウハウを活かした支援事業の展開

作物を栽培し、食を通じた貧困や子供食堂などの支援

災害時の重器材を含めた各種の救援活動の展開